

## 分類名 [花き]

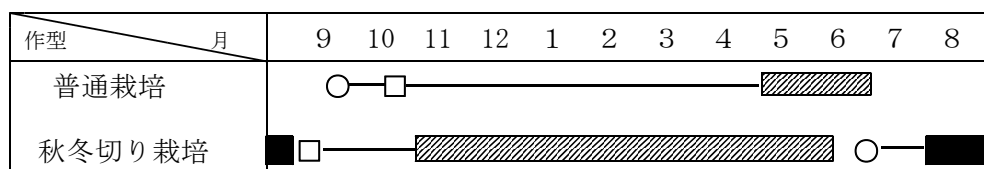
# 1 デルフィニウム・ベラドンナの苗の夜間低温処理による 秋冬切り栽培

園芸試験場

### 1) 取り上げた理由

デルフィニウム・ベラドンナはヨーロッパで育成されたキンポウゲ科の多年草である。夏期冷涼な気象を好み、普通秋に播種して、春から初夏に開花し、草丈は75～120cm、よく分枝して細い花穂に青、桃、白色の花をつける。最近フラワーアレンジメント等で需要が伸びており、作期の拡大が望まれている。そこで、早期抽だいを軽減するため、苗の夜間低温処理効果と育苗時のセルトレーの大きさについて検討したところ、成果が得られたので参考資料とする。

### 2) 参考資料



凡例 ○：播種 □：定植 ■：低温処理(15℃) ■：収穫

図-1 作型

- (1) 品種「クリブドンビューティ」を6月中旬に播種し、本葉2枚展開後の7月下旬から定植時の8月下旬までの1ヵ月間、15℃の低温庫で夕方5時から翌朝9時まで夜間低温処理を行うことにより早期抽だいが抑制され、11月上旬から品質の良い切り花が得られ、さらに株当たりの採花本数も増加する。
- (2) 育苗時のセルトレーの大きさは、128穴より72穴のトレーの方が葉令が進み、栄養生長量を確保できることから品質の良い切り花が得られる。

### 3) 対象地域等

県下一円

### 4) 特に留意すべき事項

- (1) 発芽を斉一にするため暗黒条件下で播種後3日間は25℃、その後発芽するまで15℃とする。
- (2) 育苗は、雨よけの管理とし、シルバータフベル等で遮光する。
- (3) 10月下旬より開花促進のため4時間の電照(午後10時から午前2時)を行う。

### 5) 背景となった主要な試験研究

- (1) 研究機関及び担当部科名 園芸試験場 栽培部 花き科
- (2) 研究課題名及び研究期間 寒冷地気象を活用した洋花類の作型開発と安定生産技術の確立  
平成9～11年

(3) 参考データ

表-1 処理の違いが早期抽だい及び収量に及ぼす影響(平成9年)

区	a	b
	早期抽だい (%)	株当たりの採花本数 (本)
無処理	27.8	1.5
夜間低温処理	14.2	1.8

注) 夜間低温処理: 15°C, 17:00~9:00(16hr) 平成9年7月23日~8月25日

a 採花本数に対する割合

b 全採花本数/定植株数

調査期間: H9.11~H10.2.10

表-2 セルトレーの大きさが定植時の生長及び切り花品質に及ぼす影響(平成9年)

区	定植時		切り花品質			
	葉齢	葉幅 (cm)	切り花長 (cm)	花穂長 (cm)	切り花重 (g)	小花数 (個)
128穴	4.1	5.4	89.7	16.1	34.3	11.6
72穴	6.2	5.0	95.3	19.5	35.9	13.0

注) 夜間低温処理は上記に同じ

表-3 月別採花本数及び切り花長割合(平成9年)

処理区	月	採花本数 本/a	切り花長割合(%)				
			50cm未満	50~	60~	70~	80以上
無処理・ 128穴	11	808	71	22		7	
	12	464			25	13	62
	1	748				7	93
15°C・ 128穴	11	1092	27	46	20	5	2
	12	748	7	11	14	18	50
	1	454			12	12	76
15°C・ 72穴	11	1291	17	17	29	22	15
	12	534		12		12	76
	1	692		5	5	5	85

・は種:セル専用培土200 1穴2粒まき 平成9年6月13日

・栽植密度:ベッド幅80cm, 通路65cm, 株間20cm×条間20cmの4条植え 平成9年8月25日定植

・電照開始:10月下旬より(22:00~2:00)

・加温開始:11月下旬より最低気温10°C

(4) 発表論文等

なし